

4月27日（月）

物を大事に

六年生と一年生の掃除の^{そうじ}写真^{しゃしん}です。

嬉^{うれ}しかったのは、六年生がほうきをとっ

ても大事^{だいじ}に使^{つか}っていたことです。

扇^{おうぎ}子^こには、**友達**^{ともだち}や**言葉**^{ことば}と同じくらい、

物^{もの}を大事^{だいじ}にしてももらいたいと願^{ねが}っています。この3つを大事^{だいじ}にすることで、皆^{みな}さんがど^{せいちよう}んと成^{せい}長^{ちよう}していくと信^{しん}じているからです。

物^{もの}には、いろん^{ひと}な人^{ひと}の思^{おも}いがつまっています。教科書^{きょうかしょ}には

「し^{べんきよう}っかり勉^く強^よして、この国^{くに}を良^よくして下^{くだ}さい」という

日^{にほんじゅう}本^{ひと}中^{おも}の人^{ひと}の思^{おも}いがつまっています。ノートにも「し^{べんきよう}っかり

勉^{べんきよう}強^こして、い^{いえ}い子^{ひと}になっ^{ねが}てほし^いい」という家^{いえ}の人^{ひと}の願^{ねが}いがこ

もっています。だから**家**^{いえ}の**人**^{ひと}が**お**金^{かね}を出^だして買^かってくれたの
です。

この思^{おも}いを裏^{うら}切^ぎるようなことをしてもらいたくありません。

教科書^{きょうかしょ}、ノート、鉛^{えん}筆^{ぴつ}、消^けしゴ^ごムなどは、「し^{べんきよう}っかり勉^{べんきよう}強^し

てもらいたい」と願^{ねが}う人^{ひと}が、大^{たい}切^{せつ}な**お**金^{かね}を払^{はら}って買^かってくれ

たのです。これをし^{つかう}っかり使^{つかう}うことが、た^{ひと}くさ^{おも}んの人^{ひと}の思^{おも}

に**こた**えることです。

村越 新

